令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

Table with 2 columns: Item (施設名称, 施設所管課・担当, etc.) and Content (鶴見緑地ほか6施設, 建設局公園緑化部調整課公園活性化担当, etc.)

2 管理運営の成果・実績

Table with 8 columns: 成果指標, 来園者数, 利用者数, 利用率, 利用率, 利用率, 利用者数, 利用者数. Rows include 数値目標, 年度実績, 達成率.

Table with 8 columns: 成果指標, 利用者満足度, 利用者満足度, 利用者満足度, 利用者満足度, 利用者満足度, 利用者満足度, 利用者満足度. Rows include 数値目標, 年度実績, 達成率.

※陳列館ホール、水の館ホール、むらさき亭における利用者満足度の年度実績については、利用団体向けに実施したアンケート結果を示している。

利用状況

Table with 10 columns: 利用状況, 鶴見緑地, 咲くやこの花館, 陳列館ホール, 水の館ホール, むらさき亭, 鶴見緑地馬場, パークゴルフ場. Rows include 当年度, 前年度, 前年度比(差).

令和6年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	626,430,047	615,672,581	▲ 5,707,839	業務代行料と相殺する公園使用料相当額が増加したため
	計画	632,137,886	645,370,518		
利用料金収入	実績	167,190,651	155,798,561	11,710,351	自主事業の実施による利用率が増加したため
	計画	155,480,300	154,480,300		
その他収入 (自主事業収入等)	実績	756,204,122	688,620,708	188,373,441	車での来園者が大幅に増加したことにより駐車場収入が増加したため
	計画	567,830,681	555,878,681		
合計	実績	1,549,824,820	1,460,091,850	194,375,953	
	計画	1,355,448,867	1,355,729,499		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	255,107,945	247,667,751	63,890,945	労務単価及び最低賃金の上昇によって増加したため
	計画	191,217,000	189,092,000		
物件費	実績	946,212,826	939,268,843	▲ 44,194,758	原材料価格、エネルギーコストなどの上昇に伴い光熱費は増加したものの、簡易修繕の直営化による修繕費や管理用資材の再利用化によって購入費及びごみ処分費等が減少したため
	計画	990,407,584	968,119,584		
その他事業費 (自主事業支出等)	実績	451,787,511	481,430,983	187,648,114	原材料価格の高騰によるイベント経費等が増加したため
	計画	264,139,397	275,600,397		
合計	実績	1,653,108,282	1,668,367,577	207,344,301	
	計画	1,445,763,981	1,432,811,981		

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
来園者数(鶴見緑地)	—	—	2026年までの数値目標であるため
利用者満足度(鶴見緑地)	115.3%	A	快適な園内周遊や大型イベントの実施に努めた結果、満足度が高かった
利用者数(咲くやこの花館)	91.8%	B	令和6年10月より本市による大規模修繕を実施しており、一部エリアへの立入りが制限されたことにより、利用者数が減少したため未達成
利用者満足度(咲くやこの花館)	117.1%	A	
利用率(陳列館ホール)	92.7%	B	
利用者満足度(陳列館ホール)	112.9%	A	
利用率(水の館ホール)	129.8%	S	イベント等の利用件数の増加や自主事業の実施による利用率の増加のため
利用者満足度(水の館ホール)	110.6%	A	
利用率(むらさき亭)	61.0%	C	本市による山のエリア国際庭園の改修工事により、令和6年12月以降、営業を休止していたため
利用者満足度(むらさき亭)	108.2%	B	
利用者数(鶴見緑地馬場)	113.0%	A	
利用者満足度(鶴見緑地馬場)	103.5%	B	
利用者数(パークゴルフ場)	102.4%	B	
利用者満足度(パークゴルフ場)	111.1%	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
昨年度に引き続き、各施設での節電によるエネルギー使用量の削減、備品の再利用による購入費の削減、施設修繕の直営化、一般園地の維持管理により発生した落ち葉の一部を腐葉土として利用することにより廃棄物の排出量を抑える取組みなど、経費削減に努めていた。	B	利益配分金なし

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営水準及び仕様書に沿った維持管理を行い、概ね水準に達する管理状況であった。 山のエリア等の大規模改修工事にあわせて、大花壇やバラ園、その他植栽管理を調整していた。 公園と近隣施設の境や駅前広場に、猛暑対策のための壁面緑化や植栽帯を設置することで利用者の憩いの空間を創出していた。 風車の丘の風車下の未活用地に花の植栽（ミュレンベルギア・寒咲きナノハナ）を実施し、魅力向上に努めていた。 利用者の多い第2運動場北側遊具広場内遊具や公園灯ポール、駅前広場手摺の塗装を実施し、長寿命化及び景観向上を図っていた。 園内広報用看板をリニューアルし、視認性や広報看板交換の効率性を向上させていた。
事業計画の実施状況	B	<ul style="list-style-type: none"> 南駐車場内にオープンさせたアルペンアウトドアズにてアウトドアアクティビティ用品を販売し、園内活動の促進に寄与した。 令和6年3月より大池北東の夜間ライトアップを行っており、夜間の来園者の増加を図っていた。 令和5年度より園内移動サービス「つるモビ」の座り乗りタイプを導入しており、園内の回遊性の更なる向上を図っていた。 咲くやこの花館については、従来のイベントに加えて、新たに、花博ゆかりの植物等の当館に残るレガシーを紹介する「咲くやこの花館展」、御堂筋で育ったスイカである「ど根性スイカ2世」の試食会等を実施することにより、入館者の増加を図っていた。また、熱帯雨林エリアに、中南米の熱帯地域や世界の亜熱帯地域原産であるフィロデンドロンの葉を用いたフォトスポットを設けることにより、若年層の入館者が増加するなど、従来とは異なる客層を獲得していた。 パークゴルフ場については、校外学習等の団体利用の促進のほか、旅行会社からの情報収集、簡易翻訳アプリ等の活用を通して積極的なインバウンド対応を行い、新規利用の獲得に努めていた。 陳列館ホール、水の館ホール、むらさき亭については、空き情報の見える化や予約情報の更新を迅速に行うことに加えて、申請書提出から承認までの時間を短縮することでスムーズな予約に努めていた。 鶴見緑地馬場については、オンライン予約システムやキャッシュレス決済を導入するなど、さらなる利便化に努めていた。
施設の有効利用	B	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者が中心となって地域の様々なステークホルダーと協議を行う場である「鶴見緑地ぶらっとフォーム」を活用し、鶴見区制50周年記念イベントの利用調整等、本市・指定管理者・周辺施設管理者・地域振興会（市民）が一丸となって運営していた。また、万博開催に伴う園内各所での改修工事の情報共有や市内路上喫煙防止対策等、本市関連情報の共有にも協力していた。 昨年度に引き続き、各施設でイベント等を実施する際に、鶴見消防署やこどもホスピス等の周辺施設及び市内類似施設と連携して企画・運営を行っていた。 鶴見緑地フェスタにおいて、拡張万博ブースとして近畿圏の会社や施設（ニジゲンノモリ等）を誘致し、鶴見緑地をハブとした地域連携に寄与していた。
社会的責任・市の施策との整合性	B	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護に関する取り組みについては、研修の実施に加え、各社の個人情報保護規定に則り、適切に実施していた。 環境保護対策の取り組みについては、落ち葉などの腐葉土化、フードロスゼロ、ごみの減量化、ペーパーレス化、クールビズ、植物多様性保全拠点園事業等、着実に実施していた。 園内で大型イベントを開催する際、イベント事業者へごみステーションの設置及びごみの分別回収を徹底させていた。 昨年同様、毎朝早朝ラジオ体操をしている市民有志団体との連携に加え、新たに毎週土曜日の朝にランニングをしている団体と連携して各活動の後に清掃活動を実施し、回収したごみをパークセンターにて処分する取組を実施していた。

令和6年度 指定管理者年度評価シート

4-2 魅力向上事業の達成状況

・ハード事業としては、令和5年度に中央第一駐車場に事前精算機設置したことに加えて、新たに当該駐車場立体駐車場の改修や誘導員の配置を行い、繁忙期の駐車場混雑のさらなる解消に努めた。また、令和4年度にオープンしたコマダ珈琲、スターバックス、BOTANICAL HOUSE、令和5年度にオープンしたアルペンアウトドアーズをそれぞれ適切に運営し、園内の利便性を向上させていた。加えて、令和3年度に実施した芝生再生について、継続して養生や散水を行い芝生としての定着に努めており、令和4年度に整備されたつるみっこパークでは、日常的な親子連れでの利用だけでなく、遠足や校外学習でも多く利用されている。

・ソフト事業としては、毎週日曜に定期的で開催している「せせらぎマルシェ」（延べ参加者数：約8.4万人）、「はらべこCIRCUS」（延べ参加者数：22.3万人、令和6年5月2日～令和6年5月6日開催）、「鶴見緑地フェスタ」（令和6年11月2日・3日開催）等、集客力の強い事業に取り組んでおり、豊かな独創性を発揮し、賑わいの創出を図っていた。

5 利用者ニーズ・満足度等

・一般園地については、QRコードを用いたWebでアンケート調査を行い、54.0%が「満足」、44.0%が「やや満足」の評価を得た。公園の魅力向上のために充実してほしいものとしては、飲食店（36%）、休憩施設（28%）などがあげられた。

・咲くやこの花館については、68.5%が「満足」、31.0%が「やや満足」の評価を得ており、「スタッフの対応が良い」「植物が見やすい」「植物の管理が行き届いている」との意見を受けた。

・陳列館ホール、水の館ホール及びむらさき亭については、いずれの施設においても「やや満足」以上の評価が94%以上となっていた。改善点として、「水の館の床の凸凹の影響で展示会がスムーズに設置できなかった」「エアコンの効きが悪い」「施設の老朽化が目立つ」との意見を受けた。

・鶴見緑地馬場については、入会3か月目アンケートをWEBで行い、62.0%が「満足」、26.0%が「やや満足」という評価を得ており、「乗馬レッスンに参加することが楽しみ」との意見があった一方、「予約がいっぱいでなかなか取れない」との意見もあり、昨年度より不満意見の割合が高かったため、次年度以降への課題として予約枠の増枠を行う。

・鶴見緑地パークゴルフ場については、81.0%が「とても満足」、13.5%が「満足」の評価を得た。改善点として、土日祝の混雑度合いや混雑時間帯が事前に分からないという意見が散見されたため、団体利用情報等を積極的に提供し、見える化することで利用の分散を図っていく。

6 外部専門家意見

・従来とは異なる客層の獲得に努めていたり、周辺の地域住民や自治体、企業と連携したイベントを開催していることが高く評価できることから、最終評価における加点が認められる。

・園内のみならず周辺施設と連携して運営を行っており、公園全体の賑わいの創出に寄与していることから評価できる。

・咲くやこの花館でみられたように、SNSをより活用することで近隣のみならず広域からの来園の動機となりえるのではないだろうか。そうすることで園内のさらなる活性化に努めてもらいたい。

・夏休み期間の利用を増やしたいが、近年の猛暑で難しい部分がある。すでに対策はされていると思うが、クーリングシェルターを増設するなど熱中症対策をより進めて年間を通した園内利用に期待したい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	・本市による工事の影響もあり利用が減少した施設もあったが、概ね成果指標に係る数値目標を上回っていることから評価できる。
市費の縮減	B	・本市への利益配分までは至らなかったが、環境に配慮した経費削減の取り組みを進めており、一定評価できる。
管理運営の履行状況	B+	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営水準及び仕様書に沿った維持管理を行い、概ね水準に達する管理運営状況であり、評価できる。 ・咲くやこの花館においては、フォトスポットの設置により若年層の入館者を増加させるなど、公園の魅力向上につながるような取り組みを行っていることから高く評価できる。 ・万博開催に伴う改修工事や市内路上喫煙防止対策といった本市関連情報の共有に協力し、イベント時に拡張万博ブースを展開するなど、本市と連携した運営にも努めており高く評価できる。 ・環境保護対策に取り組むことに加えて、イベント開催時のごみの分別回収や利用者と一緒に園内清掃活動を行っており評価できる。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	・概ね事業計画及び本市の定める水準どおりの効果が得られた。